

令和4年度 第4回徳島県地域医療総合対策協議会 議事録

日 時：令和5年3月8日（水） 19：00～19：35

場 所：（Web開催） ※事務局等は県庁1105会議室

出席者：別添委員名簿のとおり（出席26名、欠席6名）

議題1 地域医療介護総合確保基金（医療分）に係る令和5年度事業の概要について

（北畑会長）

それでは、議事に入らせていただきます。まず、議題1の地域医療介護総合確保基金（医療分）に係る令和5年度事業の概要について、事務局から説明をお願いします。

（事務局）

資料1により説明

（北畑会長）

ありがとうございました。ただいまの事務局からの説明につきまして、御意見・御質問はございませんでしょうか。

それでは、私のほうから。少し簡単に新規事業について教えていただきたいんですけど。2つの新規事業がございますけども、①のほうの心身障がい者歯科診療対応力強化事業というのは、これは徳島県歯科医師会の口腔保健支援センターの整備ということでよろしかったでしょうか。

（事務局）

そのとおりです。

（北畑会長）

②の子ども医療電話相談事業というのは、これまでは普通の電話での対応はしてただけで、新たにLINE電話に対応するっていうものなののでしょうか。それともゼロからの構築ということなのでしょうか。

（事務局）

はい。こちらLINEの相談につきましては、今＃8000の取組を進めさせていただいておりますが、現在電話だけというところをLINEにも拡大させてサービスの向上を図っていきたいという取組となっております。

（北畑会長）

ありがとうございました。他に何か御意見等はございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。国からの内示を受けてまたこの協議会に諮るということですが、ないようでしたら、次の議題に移りたいと思います。

議題2 令和6年度から各臨床研修病院において臨床研修を開始する研修医の募集定員の設定について

(北畑会長)

続きまして、議題2の令和6年度から各臨床研修病院において臨床研修を開始する研修医の募集定員の設定について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

資料2により説明

(北畑会長)

ありがとうございました。ただいまの事務局からの説明につきまして、何か御意見・御質問はありませんでしょうか。県全体の上限枠が78名で、今回病院の希望する定員の総数が79名とオーバーしていたので、県のほうで調整していただいて、資料のと通りの案としているということです。

(森委員)

鳴門病院の森でございます。今回、募集定員の中で、当院が1名減という形になっておりまして、これ徳島県立中央病院の方で自治医が1名増えるということの中での調整と伺っております。

従いまして、当院としては、やはり県全体の中でのことも勘案しまして、1名を減らすことに関しましては了解させていただいたところでございますけども、令和7年度におきましては是非元に戻していただきたいということを要望させていただくのと同時に、県立中央病院のほうで1名自治医が多いという状況はあるので、できればそういった自治医の研修医の方にも当院のほうにプログラムの中で来ていただけるような仕組みを作っていただけたらと。

またそれだけでなく、鳴門病院としては、今年三好病院の方へ地域研修ということで、研修医1名に2ヶ月ほど行っているというのもありますので、県立病院の中でも協同して、連携して研修がこれから作っていければと考えておりますので、これについては要望させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(北畑会長)

はい。プログラムでのローテーションのことにしましては、葉久院長と武田先生と御相談させていただきたいと思います。自治医の定員に関しましては、何か事務局から説明の追加がございますでしょうか。

(事務局)

事務局の金丸でございます。この度の募集定員の設定の関係では、鳴門病院さんには御不便をおかけすることになりまして誠に申し訳ございません。令和7年度に関しましては、また御希望の5名に戻るような形で県としても調整して参りたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(北畑会長)

はい。ありがとうございます。森理事長、よろしいでしょうか。

(森委員)

ありがとうございます。

(北畑会長)

他に御質問・御意見等はありませんでしょうか。総枠が今後も減る見込みであるということで、今後も各病院との調整、話し合いが必要になるのではないかと思います。よろしいですか。

ありがとうございます。それでは、次の議題に移りたいと思います。

報告事項 令和4年度研修医マッチング結果及び今後の取組について

(北畑会長)

続きまして、報告事項の令和4年度研修医マッチング結果及び今後の取組について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

資料3により説明

(北畑会長)

ありがとうございました。ただいまの御説明につきまして、御意見・御質問いかがでしょうか。

もし宜しければマッチング結果が表に載っているんですけど、二次募集の結果を簡単に口頭で人数を教えていただくことはできますか。

(事務局)

はい。事務局よりお答えさせていただきます。2月28日に徳島県臨床研修連絡協議会が開催されまして、そこで各病院の皆様より御提供いただいた情報となりますが、二次募集の結果ということになりますと、県立中央病院におかれては、3名追加で獲得されました。また、徳島大学病院におかれては、追加で4名獲得されております。以上でございますが、これらの方々から、卒業試験や国家試験の結果を踏まえまして、来年度開始の研修医の人数が確定することになるかと思います。

(北畑会長)

はい。ありがとうございました。いかがでしょうか。赤池先生、何かコメント等、追加でございせんでしょうか。

(赤池委員)

はい。ちょっと全体的に恐らく専門研修の基本領域が始まったという影響を受けて、初期研修が始まった時も一時期、東京等の都市部にかなり流出して、数年かけて元に戻ってきたんですけども、やはり専門研修が制度化されるとどうしても地方から都会の方へ行こう行こうとするので、そういったことも踏まえて初期研修から都会の方へ行こうという流れが顕著になってきていると思います。県全体で協力しながら、何とか確保していく必要があると思います。以上です。

(北畑会長)

はい。ありがとうございました。本当に県の医療を支える生命線にもなるかと思うんですけども、他いかがでしょうか。

特に御意見等もないようですので、以上で、本日の議事は終了となりますが、せっかくの機会ですので、何でも結構ですので、御意見、御発言があればお願いします。

(香美委員)

徳島大学病院の香美ですけど、よろしくお願いします。

最後のほうの説明で、やはり徳島県にマッチングを上げていくということで、接触機会を増やしていくことが大切だと、そのとおりだと思うんですけど、今、徳島県では、例えば他県の大学に行っている人で見学に来るわけなんですけど、そういう時の旅費とか宿泊費とかを補助するというようなことはやっているのでしょうか。

他の大学、他県の人に聞いたりすると、そういうことをやっている県があつて、そういう意味で県の情熱が伝わるというようなことを言っている人を実際、小児科の教授をやったときに聞いたんですけども。そういうのもしてもらえると見学に来る人も増えるんじゃないかと思うんですけど、現在はどのような感じになっているのでしょうか。

(事務局)

はい。県であつたり、県の臨床研修連絡協議会として、そういったことを補助している仕組みはございません。ただ、各病院の状況を伺っておりますと、病院独自で見学費を補助していたり、宿泊場所の提供であつたりをしている病院は比較的多くあるのかなという風に考えております。

すべての病院がそういったところをしているかどうかというのは詳細確認いたしますけども、他県、恐らく高知県だったりでそういったことがあつたかと思えますけども、そういった補助ができないかということについては、今後検討させていただければと思います。

(香美委員)

私が聞いたのは鹿児島県だったかと思うんですけど、たまたまこちらへ来た学生が県の熱意が伝わるんですって言っていたので、それが印象に残ってて今回質問した訳なんですけど。

今回、基金の話もありましたけど、ちょっと違うんですかね。まあ、医療職を確保するというか、そういう意味合いではなかなか使えないのかもしれませんが、何か形を変えてでも、そういう補助があればいいのかなと思いました。

(北畑会長)

はい。よろしいでしょうか。この件については、昨年も恐らく大学のほうから御要望があつたように記憶しているんですけど、また是非検討していただけたらと思います。

他、いかがでしょうか。特にございませんか。よろしいでしょうか。

はい。それでは、御意見等もないようですので、以上で本日の議事を終了いたします。それでは事務局にお返しします。

(事務局)

北畑会長、委員の皆様、本日はありがとうございました。以上をもちまして、第4回地域医療総合対策協議会を終了いたします。

以上